



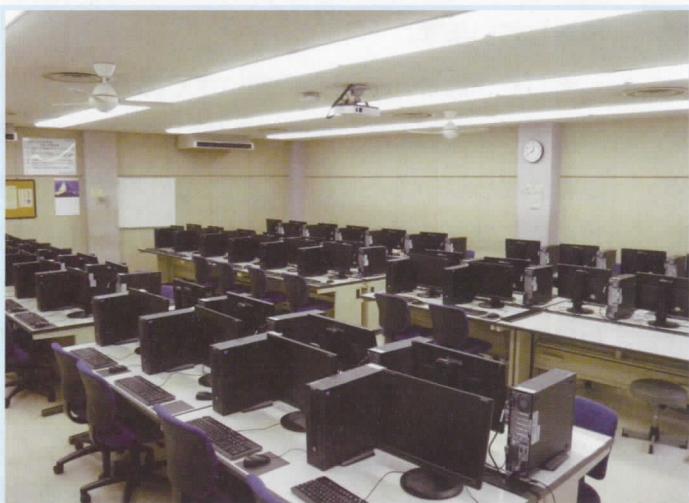
青武台だより

No.204

平成27年3月13日発行

目 次

ページ



1. 卒業生・修了生に贈る言葉	
校長	2
教育後援会会長・進和会会長	3
2. 卒業生クラス紹介	4~8
3. 修了生クラス紹介	9~10
4. 各学科卒業研究・指導教員紹介	11~13
5. 専攻科特別研究テーマ・指導教員紹介	13
6. 学生の将来と進路	14~15
7. 活躍する仲間	
第11回全国デザインコンペティションに参加して	16
国際シンポジウム発表体験記	16
第8回東海北陸地区高等専門学校英語スピーチコンテストに参加して	17
第23回全国高等学校文化連盟将棋新人大会 福井県大会に参加して	17
平成26年度優秀学生賞	18
平成26年度資格取得者一覧	19
8. 見学旅行について	20~22
9. 校外研修について	22~23
10. 遠足について	24
11. JOINTフォーラム2014	25
12. 第20回マグネットコンテスト表彰式	25
13. 第6回福井高専クラシックコンサート	26
14. 中学生の皆さんへ	
中学校だより　南越前町　河野中学校	27
平成27年度入学者選抜について	27
平成27年度入学者選抜実施状況一覧	27
15. 学園通信	
平成26年度留学生との懇親会報告	28
平成26年度福井工業高等専門学校卓越した学生 の表彰及び校長特別賞・校長賞受賞者	29
平成27年度教育後援会総会	29

卒業生・修了生に贈る言葉



卒業・修了おめでとう

校長 松田 理

卒業ならびに修了を迎える本科177名、専攻科20名の皆さん、おめでとうございます。本校教職員、在校生を代表して心からお祝い申し上げます。

皆さんは、早いうちから技術者の道を選択し、幅広い教養とそれぞれの専門分野での知識・技術など、創造的・実践的技術者としての備えるべき基本を学び、複眼的視野も身につけたことだと思います。これから、本校で学び培った能力を思う存分発揮し、大いに活躍してもらいたいと思います。

我国は、技術の高度化とグローバル化や情報化の急激な進展で、企業を取り巻く競争的環境が激化し、対応すべき多くの課題に直面しています。そして、そのような社会・経済の変化や技術革新等に伴う人材需要に応えるため、質の高い職業人の養成が求められ、実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関の制度化も検討されている状況もあります。

もとより高専は、その職業教育において国内外から高い評価を受けており、したがって産業競争力の切り札と言っても過言ではないと思います。是非、皆さんには福井高専で身につけた知識で何ができるのか、またどう活用するのか、時々の場面で問いかげながら、持てる力を十分に発揮し、技術者として役立ってほしいと思います。これから日本を創るのは若者であり、皆さんの活躍に国の浮沈がかかっていると言っても良いでしょう。

技術は、人類の夢を実現するものですが、人と、自然と、そして社会と繋がってこそ、はじめて成立するものです。即ち、人間環境や自然環境に配慮した、また調和した技術でなければ、社会に受け入れてもらえないのです。そのためには、基礎知識

と応用力、そして的確な情報判断をもとに、人間力に基づく人との繋がり、所謂、絆で何事にも果敢に挑戦して欲しいのです。

挑戦は若者の特権です。ただ、挑戦には数々の困難と失敗がつきものであります。天才物理学者アルベルト・aignシュタインは、「困難なときにこそチャンスがある」と言っております。また、失敗は未知との遭遇であり、その原因究明により新たな発見があり、自分を成長させるものです。

加えて、哲学的思考や文化的素養と豊かな感性は、新たな技術を生み出す大きな要素です。柔軟な発想や適応力、また異文化に対する理解力により、必ず道は開けると信じています。是非、夢に向かって努力し続けてください。継続は力なりです。大いに期待をしています。

そして、皆さんは技術の担い手であるからこそ、技術者である前に高い倫理観を持つ立派な人間でなければならないのです。決して、自分本位の、視野狭窄的な考えを持つのではなく、健全な人間社会を構成する一員として、自律し善悪を判断する力、また真偽を見抜く力とともに、専門以外の方々とも共通基盤を持つ人間になって欲しいと思います。

本校の教育方針のもとで学び、個々のアイデンティティを確立された皆さんは、言うなれば福井高専の社会に対するメッセージでもあります。どうかこれから国際化の時代、様々な場面でキーパーソンとして活躍され、他人から求められる人間、魅力ある人間として成長されることを祈念しています。

卒業生・修了生に贈る言葉



はなむけの言葉

教育後援会会長

岩坂 昭宏

卒業ならびに修了を迎える皆様、新たなる船出に際し心よりお祝い申し上げます。

さて、入学して今日までの数年間はいかがだったでしょうか。高専という教育機関を選択し、高校進学組とは違う進路を歩まれてきた中で、楽しいばかりでなく、時には挫折や後悔も経験してきたことと思います。教育機関の最大の目的は、学生に対し学習と経験の場を与えること。その経験の中には成功体験だけでなく、試練や挫折も含まれていたことでしょう。この先、今まで経験したことがないような試練そして時には挫折と直面するでしょうが、高専で学び経験してきたことがきっとあなたを励まし救ってくれるはずです。そして、共に学んだ仲間達や指導頂いた先生方は永久にあなた方の味方です。また、社会では先輩方も多数ご活躍です。歳が違えど、学科が違えど、例え他県の高専卒であろうとも、同じ高専スピリットが流れる仲間であります。共に助け合い、切磋琢磨できるような人脈形成に役立てて頂きたいと思います。

そして何より、これまで、これからも、ご家族は何よりあなた方の応援団です。これまで育てて頂いたご家族への感謝の気持ちちは忘れないでください。これから皆さんのが船出する大海原の航海は決して孤独なものではありません。福井高専という港は、いつまでもあなたを見守っており、家族という故郷はいつもあなたの心に寄り添っています。何事も恐れず、己の信念を貫き前に進んでください。それが最高の恩返しだと思います。

最後に、皆様が幸多き人生を歩まれることを心より御祈念申し上げ、はなむけの言葉とさせて頂きます。

どうか、よい旅を。

といってらっしゃい。



『縁』

進和会会長

前川 忠博

本科及び専攻科の皆様、ご卒業おめでとうございます。

福井高専同窓会「進和会」を代表しまして、皆様のご卒業をお慶び申し上げるとともに、これからのご活躍をお祈り申し上げます。

今回は『縁』について考えたいと思います。仏教用語では、「原因をたすけて結果を生じさせる作用」とあります。すなわち、すべてのものには皆原因があって結果を生ずるということです。昨年3人の日本人科学者がノーベル賞を受賞しましたが、3人とも青色発光ダイオードという「縁」で結ばれ、ノーベル賞という結果をもたらしたということになります。縁のなかで最も強いのが血縁、皆様のお父さんとお母さんが出会ったのが「縁」で、そして結果として皆さんのが今こうしています。夫婦の縁は切れることがあります、親子の縁は切っても切れません。皆様の卒業を一番喜んでおられるご両親を大事にしてください。また、縁の中で強いようで弱いのがお金の縁ではないでしょうか。金の切れ目が縁の切れ目というように、会社が無くなればそこでの縁が切れてしまいます。経済が第一の今の世の中で一番弱い縁で繋がっているのかもしれません。逆に、強い繋がりは「宗教」だと思います。世界には多数の宗教があり、ほとんどが人の心のよりどころとなり、世の中の秩序を守ってくれていますが、この文を書いています今、過激な教団がテロ組織として世の中を混乱させています。

皆様がいろいろな面で良縁に恵られますように心からお祈り申し上げます。また、皆様の一つの縁として、同窓会も頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

住所等の変更があった時には必ず下記に連絡をお願い致します。

【連絡先】

〒916-8507

福井県鯖江市下司町 福井高専進和会事務局
TEL 0778-62-1111 FAX 0778-62-2597

卒業生クラス紹介

機械工学科



軽トラ・・・素敵！

機械工学科5年担任 村 中 貴 幸

5年生の皆さん、高専での教育課程を修了し、卒業という節目を迎えられること、心から御祝い申し上げます。おめでとう。担任として皆さんの成長を見守ることは何物にも代えがたい楽しみでした。

さて、我が家には一台の軽トラがあります。もう10年前のおじいちゃん軽トラですが、まだまだ現役です。軽トラと聞いて、何を連想しますか？遅い、狭い、かつこ悪い、こんなネガティブなイメージでしょうか？でも、ちょっと見方を変えてみると・・・狭い日本、抜かれても次の信号で追いつきます。助手席に恋人を乗せれば定員いっぱい、邪魔は入りません。それに狭い車幅は二人の距離を一気に縮めてくれます。広大な荷台は満天の星空を眺める絶好の場所です。どうですか？軽トラ、良いかも？と、思いませんか。みなさんは4月から、それぞれの新しい道へ一步を踏み出しますが、次代を担う君たちは、こんな発想の転換、違った角度から物を見る目が必要だと思います。つまらない仕事や無駄な仕事も見方を変えるとやる気が出できますよ。

5年間

5M 辻 明 菜

福井高専機械工学科に入学して5年が経ち、卒業の時期になりました。5年という月日は怖いもので、入学当初は存在していた女子の扱いも最近では全く見られなくなってしまいました。良い意味で気遣いなく接してくれているので、私的には嬉しいのですが、そのおかげでたくましく、いや、たくまし過ぎるくらいに成長？したと感じています。。。

5年間という時間は長いようで、過ぎてみると短いものなのだと実感しています。研修旅行や文化祭、体育祭などの楽しい時間も、テスト週間や卒業研究、進路の事で悩んだ時間も、みんなで過ごした高専生活におけるとても素敵な思い出です。こんな風に楽しい日々が送れたのも、村中先生、お世話になった先生、職員の方々、高専生活で知り合えた先輩、後輩たちのおかげです。5年間ありがとうございました！

そして、クラスのみんなには感謝の気持ちでいっぱいです！5年間ほんとうにありがとう！私はとっても楽しい5Mのみんなが大好きです！

いつかまた、みんなと会えることを楽しみにしています。

卒業生クラス紹介



電気電子工学科



卒業生に贈る言葉

電気電子工学科5年担任 佐 藤 匡

卒業おめでとうございます。皆さんの未来に幸多かれとお祈り申し上げます。迷い、悩んだ時に思い出して欲しい先人の言葉を、幾つか贈ります。

●自分のことを、この世の誰とも比べてはいけない。それは自分自身を侮辱する行為だ。(ビル・ゲイツ)
●世間にあって、世間の意見のままに生活していくのは容易である。また孤独の境地にあって、自分の意見のままに生活していくのも容易である。この孤独の境地において持っている孤独を、群衆の中にあっても守っている人こそ、至高の人である。(エマーソン)

●天の目に大任を是の人に降さんとするや、必ず先づ其の心志を苦しめ、其の筋骨を労し、その体膚を餓やし、其の身を空乏し、行ひ其の為すところに払乱せしむ。心を動かし、性を忍び、その能はざる所を曾益せしむる所以なり。(孟子)

●条件に屈するか立ち向かうかは自分で決められるのだ。最終的な自己決定権はわれわれの側にある。(ヴィクトール・E・フランクル)

●運命よ、そこをどけ。俺が通る。(マイケル・ジョーダン)

5年間を振り返って

5E 山 崎 郁 実

5年前、私は高専という普通じゃない選択をし、入学しました。そんな私がこうやって無事に卒業し、社会に出ようとしています。この5年間は長いようで短かった気がします。4年間同じクラスで過ごしてきた5Eのみんなには感謝しています。1年のものづくり科学から、遠足、研修旅行、交流会、高専祭、体育祭にいたって様々な行事を共にしました。みんなで企画した高専祭や、一致団結したりレーや応援も新しい記憶として残っています。何でもない休み時間にくだらない話して笑ったことや、授業中の筆談も今ではいい思い出です。先生に本気で怒られたり、友人とカラオケに行ったり温泉行ったり、思い返せばこの5年間は充実したものになっていました。これも支えてくれた友人、先生、先輩のおかげだと思います。

こうやって集まった38人や、他クラスの友人、先生方とも離れてしまうけれど、いつか再会し思い出話に花を咲かせることを楽しみにしています。

卒業生クラス紹介

電子情報工学科



卒業生の担任として

電子情報工学科5年担任 村 田 知 也

今これを書くにあたって、2年前にこの校報に寄稿した「3年の担任として」という私の原稿を読み直してみました。そこには「5年は短い、後悔のないよう1日1日を大切に」とメッセージを送っていました。果たして卒業生となった今、振り返ってみて後悔のない高専生活だったでしょうか？

私は担任として1日1日後悔のないよう、君たちを指導してきたつもりです。実際は「テキトーで面倒臭がりのダメな先生やな」て思っていたかもしれません（汗）、私なりに一生懸命やってきました。そんな担任に文句を言いながらも最後まで付き合ってくれて有難うございます。今まで高専で培ってきたチカラは、どんなところでも役立っていくはずです。

これからはさらなる「自由」が与えられ、一人の大人として、その「自由」に責任を持つことになります。「自由」とは、何でもできるということではありません。自分を律してさらなる上へと目指して行ってください。

ご卒業おめでとうございます。気が向いたら、いつでも高専に帰ってきてください。またバカな話でもしましょう。

変わった場所

5E1 木 下 誠 也

5年間の高専生活も、終わりを迎えようとしている。この短い時間の中でお世話になった人は、先生や職員の方々、そして先輩、後輩、友達、数え切れない。中でも高専生活を共に過ごしたクラスの仲間たちは、面白い奴、真面目な奴、色々いた。皆からはいろいろな影響を受けすぎた。もういらない。多すぎる。（笑）

高専での生活は、自分を「変える」ことができたと思う。学生だけで最大7歳も年齢の差があり、先生も若い方からベテランの方までと、周りをとりまく人々は、物事の考え方も思っていることも様々。広い世界をぎゅっと凝縮した環境のようなこの学校で授業を受けたり、諸団体で仲間と共に活動したり、時には先生に怒られたりした。しかしその度に、相手は持っている、あるいは知っていることを、まだそれを持たない、あるいは知らない自分へ教えてくれて、自分自身を大きい存在にえてくれたと感じている。そう感じられるのは、ここでしか出会えない仲間と共に生活できたからだろう。ありがとう。

卒業生クラス紹介

物質工学科



卒業する諸君へ

物質工学科5年担任 平井 恵子

卒業を迎えた皆様、ご卒業おめでとうございます。そして、学生諸君を温かく見守り下さいました保護者の皆様に心よりお祝いを申し上げます。担任として入学当初より皆さんの成長を近くで見守れましたこと、皆さんが卒業することを嬉しく思います。

皆さんは4月からそれぞれの新たな道へ踏み出すわけですが、「ポストが人を育てる」という言葉を知っているでしょうか。望まない役を割り当てられたときには「いやな仕事を押し付けられた」、「違うほうがよかったのに」と思うかもしれません。しかし、与えられた役割に対して誠実に取り組み、精一杯努力することで、人はいかようにも成長できるということです。

このところ猛暑、大雨、大雪等の異常気象や大規模の自然災害など様々なことがあります、これから先には苦しいこともあるでしょう。皆さんが福井高専での5年間で培った力を発揮すれば、それぞれの道で活躍できるものと信じています。そして、想定外の変化をしてくれるよう期待しています。まずは健康に十分注意して、自分を信じて歩いて行きましょう。皆さんの活躍とご多幸を祈念いたします。

長いようで、短かった学生生活

5C 佐々木 雄輝

5年前、新しい気持ちで校門をくぐり、これからの学生生活に胸を躍らせながら入学しました。気づけば今や5年間で身に付けた知識、技術を活かして卒業研究行う5年生……。初めは5年間なんて長いなあとっていましたが、過ぎてしまえばもう卒業式。

学生生活の中で一番印象に残っているのは体育祭で団長を務めたことです。この経験を通して多くのことを学び、最も自分のためになったことは「相手のことを考えて行動すること」です。リーダーというのはとても大変です。応援団の踊りを考えて、そしてそれを後輩のみんなに教えることも大変でしたが、何よりも一番苦労したのは全員をまとめることでした。どうしたらついて来てくれるのか、楽しく行えるのか、試行錯誤の日々でした。その中で自分のやりたいことだけを押しつけるのではなく、まずは、相手の気持ちになり考えることで自分がどのように動けば良いか、というのが見つけやすくなりました。

集団をまとめることは難しいことですが、周りの意見を参考にしてみんなを束ねることは、社会人として必要なことだと思っています。

体育祭だけではなく、他の行事も必ず良い経験となります。後輩のみなさんには、自ら挑戦していくほしいものです。

卒業生クラス紹介

環境都市工学科



卒業おめでとう！

環境都市工学科5年担任 辻 野 和 彦

環境都市工学科18期生の皆さん、卒業おめでとう。皆さんの担任になり、3年が経過しようとしていますね。時が経つのは早いものです。

私が担任を任せられた時、すでに34名と少人数でしたが、今、振り返ってみると、当時、クラスの団結力は弱いものであったかもしれません。現在は、体育祭や高専祭、見学旅行等のイベントを通して、まとまりのあるクラスに成長しました。その成果の一つが、1月の校長賞受賞にも現れています。5Bから6名の学生が表彰されたのは、非常に誇らしかったです。このように努力をすると評価されます。コンスタントに努力を続けることは、時には厳しく難しいものかもしれません。しかし、社会に出てからは、甘えは許されません。4月からは自分が決めた道に進みます。新しい場所で大いに活躍されることを期待しています。

最後に、卒業後も環境都市工学科18期の仲間を大切にして下さい。数年後、同窓会で皆さんがどのように活躍しているかを聞かせてもらうことを、今から楽しみにしています。

5年間を振り返って

5B 北野 真 優

5年間で本当にいろいろなことがありました。1年生のとき、入学式から2週間あとに1泊2日のオリエンテーションがあって、人見知りの私はそれまでに友達をつくらなくちゃととても不安でした。無事に友達ができたと思ったら、2年生になってまたクラス替えがあり、みんなと仲良くできるかとまた不安でしたが、明るく気さくなみんなだったので時間をかけずに仲良くなることができました。4年生では、体育祭に向けての毎日の応援練習で衝突することもありましたが、それもあってより仲を深めることができ、後輩のみんなとも仲良くなれて、5年間で1番の思い出ができました。他にも5年間でたくさんの大切な思い出をつくることができました。この思い出を糧にして、これからも頑張っていきたいです。

修了生クラス紹介

生産システム工学専攻



自分に自信を、でも謙虚に

生産システム工学専攻主任 芳賀正和

専攻科修了おめでとうございます。

一年間、様々な専攻科の行事に取組みましたが、その度に自主的に考えて行動する皆さんを頼もしく思いました。互いの個性を認め合い、適材適所に役割を分担して行動する様子から、著しい成長を感じました。

ところで、専攻科では、専門の異なる学生同士で行動する機会が多々あり、物事の考え方や問題に対する取組み方の違いなどから、色々と刺激し合えたと思います。そして、本科のときには当たり前と思っていた自分の専門知識や行動パターンが、自分の特徴・個性となることに気付いたはずです。これまでに身に付けた知識や経験を拠り所として自分に自信を持ち、それぞれの活躍の場において、さらに成長されることを期待しております。

最後に、これからは横の人間関係だけでなく、縦の繋がりである上司・部下、先輩・後輩などの関係が重要になります。常に「ほうれんそう」を意識し、加えて「確認」を実行するように心掛けましょう。

高専で学べてよかったです！

2PS 道場 充

専攻科への入学式当日。クラスメイトのほとんどが顔見知りで、人数も少なく、新鮮味は皆無。これからどんな2年間になるのかと感じたことを覚えています。しかし、それは私の杞憂に終わりました。

専攻科の授業はグループ課題やプレゼンが多く、本科で学んだ専門知識とは違って、より実用的なスキルを身に付けることができました。また、その授業を通してクラスメイトとの仲も深まり、楽しい学校生活を送ることができました。

友人に関しては、就職活動で苦しい時や、学位で大変な時期に支え合ったり、悩み事を相談したり、くだらないことで盛り上がりったり、苦しい時も楽しい時も共有してきたかけがえのない友人になりました。

高専にいた7年間の中で無駄な時間はなく、ここで過ごしてきた日々が今の自分に繋がっているのだと自信をもって言えます。

高専で出会った方々にはたくさんお世話になりました。本当にありがとうございました。これからも頑張ります！

修了生クラス紹介

環境システム工学専攻



修了生に送る言葉

環境システム工学専攻主任 高山 勝己

専攻科修了おめでとうございます。振り返ればこの2年間は皆さんにとってあつという間だったのではないでしょうか?ただ漠然とその日のノルマを果たしてきただけ、いまだ人生の目標が定まっていない!でも考えてみると、実際どれだけ自分の将来について真剣に悩み追求した機会があったかと自問してみると意外に少ないことに気づかされるものです。新しい人生のスタートとなる今こそ、一度真剣に考えてみてはいかがでしょうか?

さて、皆さんを取り巻く昨今の社会情勢は極めて多難です。中でもエネルギー資源の枯渇や悪化の一途をたどる地球環境問題への具体的対策は危急の課題です。国、自治体、企業はもちろんですが一般家庭も貢献を強いられるでしょう。皆さんはそれぞれの専門分野のエンジニア(人)として、常にこの問題を意識し積極的に取り組んでもらいたいです。

最後になりますが、社会に出れば上司や先輩から理不尽と思える叱責を受ける時があります。そんな時は相手の立場に立ってみてください。自己中心に陥っている場合が多いものです。叱責を怒りに変えるのではなく、自らの益に変えていくことが成長の秘訣です。

専攻科修了を迎えて

2ES 按察 竜輝

専攻科での2年間の生活を振り返ると、自分が宣誓文を読んだ入学式を思い出します。あれから2年が経ったと思うととても早く感じます。

15歳~22歳の7年間生活した福井高専で僕は色々な経験をしました。楽しかったことや大変だったこと、全力になったことなど色々とありますが、その一つ一つの経験が自分の一部となって今の自分が作り上げられたのだと感じます。特に専攻科での2年間は、自分の頭で物事を考えて行動して何回も自問自答をして自分というものが少しずつ見えてきたような気がします。本科の頃と比べると少しは大人へと成長できたのではないかと思います。

7年間通った学校を卒業すると考えると少し寂しい気がしますが高専での学生生活は僕にとってとても良い経験であり、とても楽しかった思い出です。そして自分自身が大きく成長することができました。このような経験ができて僕はとても嬉しく思います。また、7年間お世話になった先生方や共に学校生活を送った友達に心から感謝します。本当にありがとうございました。

各学科卒業研究・指導教員紹介

平成26年度 学科別卒業研究・指導教員一覧

機械工学科

氏名	卒研テーマ	指導教員
荒川健太	仮燃加工系における見かけ糸太さと織度の関係	金田直人
大岡真也	ファイバーレーザによるステンレス板のフォーミング加工に関する基礎的研究	千徳英介
大平稜	摩擦表層の組織と硬さに及ぼす摩擦条件の影響	加藤寛敬
勝見早斗士	容積型液圧機器の摺動部における摩擦特性	田中嘉津彦
加藤隆汰	3Dプリンターによる金属結晶構造モデルの製作	安丸尚樹
金子祐樹	GPSを用いた小型除草ロボット用測位モジュールの開発	亀山建太郎
川本真史	高圧ねじり(HPT)加工により作成した微細結晶粒材料の摩耗特性	加藤寛敬
北島友博	衛星測位システムに付加されるノイズのモデル化とロボット誘導シミュレーションへの適用	亀山建太郎
北島直之	感温液晶を用いた浮力・マランゴニ対流内に発生する脈動の可視化実験	芳賀正和
北田陵真	振動モード解析装置試作に関する研究	松尾光恭
木村信也	機械設計製図課題のCAD化に関する研究	松尾光恭
黒田健人	螺旋水車の設計・製作に関する研究	藤田克志
小林真太郎	ステンレス鋼窒化層およびチタン表面上のレーザー誘起ナノ構造	安丸尚樹
近藤拓哉	仮燃加工機の加燃工程における糸形状	金田直人
斎藤治樹	工業用純チタンの焼付き過程評価	村中貴幸
酒井航貴	ナノ構造付与工具のすくい面における摩擦低減効果の推定	千徳英介
佐竹莞羽	機械設計製図課題のCAD化に関する研究	松尾光恭
品川裕次	デジタル工作機器を活用した実地試験用水田除草ロボットの設計製造	亀山建太郎
芝田輝良	ゴム援用高精度曲げ加工法の開発	村中貴幸
高石郁弥	工業用純チタンの焼付き過程評価	村中貴幸
高橋郁也	キャビティを有する流路を通る流体の挙動に関する研究	藤田克志
通自達也	ステンレス鋼窒化層およびチタン表面上のレーザー誘起ナノ構造	安丸尚樹
辻明菜	キャビティを有する流路を通る流体の挙動に関する研究	藤田克志
寺嶋悠利	摩擦表層の組織と硬さに及ぼす摩擦条件の影響	加藤寛敬
永野法行	螺旋水車の設計・製作に関する研究	藤田克志
並河伶弥	分子動力学法によるナノ液滴の圧力に関する数値解析	芳賀正和
長谷川 詩	ファイバーレーザによるステンレス板のフォーミング加工に関する基礎的研究	千徳英介
濱内崇行	浮力・マランゴニ対流による自然対流熱伝達の数値解析	芳賀正和
前田卓真	ゴム援用高精度曲げ加工法の開発	村中貴幸
水上 瞭	振動モード解析装置試作に関する研究	松尾光恭
宮本浩彰	直方体セル内に設けた液相の分子挙動の数値解析	芳賀正和
村井優介	仮燃加工機の加燃工程における糸形状	金田直人
山下誉裕	容積型液圧機器の摺動部における摩擦特性	田中嘉津彦
N O R AMARUL	高圧ねじり(HPT)加工により作成した微細結晶粒材料の摩耗特性	加藤寛敬

電気電子工学科

氏名	卒研テーマ	指導教員
浅妻拓郎	レベル制御とサイドローブ制御を用いたフラクタルアーレーアンテナの指向性制御	大久保茂
嵐 柚貴	PINフォトダイオード及びGM管を用いた放射線検出器の作製	米田知晃
市橋勇志	ハンドルコントローラを用いた電気自動車の遠隔操作	丸山晃生
井上拓巳	超音波センサを用いた障害物検知の性能評価	荒川正和
上塙大輝	離散有限個の入力による予見制御	佐藤匡
笈田 優太	フーリエ変換を用いた多重音解析と音高判定	荒川正和
太田龍二	USBカメラを用いた可搬式移動体検出システムの作製	丸山晃生
小川翔悟	放射線検出器の波形整形回路とカウンタ回路の作製	米田知晃
川上史也	Arduino Unoを用いた倒立2輪車の試作	佐藤匡
久保杏奈	ナイロンを用いた人工筋肉の提案と特性評価	荒川正和
熊谷友斗	模擬送電線実習装置を用いた電力円線図の実験の提案	荒川正和
倉田 啓佑	色素増感太陽電池の作製プロセスの確立と発電効率の向上	西城理志
島崎浩亘	階層型ニューラルネットワークを用いた道路標識認識システムの構築	丸山晃生
白崎大吾	ハンドルコントローラを用いた電気自動車の遠隔操作	丸山晃生
高尾大樹	真空蒸着法によるCuAlS2薄膜の作製と評価	山本幸男
玉村岳大	直流電動機を用いた三相同期発電機の特性に関する学生実験の提案	荒川正和
田原憲太郎	超格子を前提とした高温超伝導の臨界電流密度の磁界依存性についての新現象の考察	石栗慎一
濱野貴明	解体作業支援ロボットに関する基礎検討	佐藤匡
早瀬佳祐	階層型ニューラルネットワークを用いた空間手書きひらがな文字の認識	丸山晃生
前川雄大	真空蒸着法によるSi(001)上の β -FeSi2膜成長	米田知晃
前田 優平	高周波スパッタ法により作製したCuInS2/ZnO薄膜のXPS解析	山本幸男
松井勇樹	スマートフォーンとトランシーバの相互通信のための周波数変換回路	大久保茂
宮越雄太	Ptナノ粒子を用いた色素増感型太陽電池	川本昂
森本 航	距離型ファジィ推論法を用いた倒立振子振上げ制御に関する研究	佐藤匡
谷内口 朗	奇数本のアレーアンテナにおける等サイドローブ指向性決定法	大久保茂
山口拓郎	現代制御理論を用いた倒立2輪車制御に関する研究	佐藤匡
山崎都実	真空蒸着法によって作製されたAgInS2薄膜に関する研究	山本幸男
山崎智也	Arduinoを用いた離散有限個の入力によるDCモーター速度制御	佐藤匡
山本 順	色素増感太陽電池の作製および光電変換効率の時間変化に関する研究	西城理志
山本瑞生	真空蒸着法によるGa2O3薄膜の作製に関する研究	山本幸男
山本唯希	iPhone用災害避難情報システムのアプリケーション開発	大久保茂
横町 伝	モット絶縁体における共振器を用いた新型超伝導の理論的研究	石栗慎一
吉井啓勝	永久電流モードによる励磁方法を利用した異なる電流領域を持つ高温超伝導コイルの高性能化	石栗慎一
吉田 隼	多層カーボンナノチューブを用いたペーストレス脳波電極	川本昂
吉村拓也	CuInS2薄膜太陽電池の電極材料に関する研究	山本幸男
米倉知宏	移相量を制御したアレーアンテナの給電回路の簡略化	大久保茂
米田 隆心	RFスパッタ法によるCuInS2/ZnOヘテロ構造の試作に関する研究	山本幸男
渡辺真輔	Si(001)への鉄イオン注入による β -FeSi2ナノ結晶生成	米田知晃

各学科卒業研究・指導教員紹介

電子情報工学科

氏名	卒研テーマ	指導教員
青柳琴子	磁場反転配位における荷電粒子の運動解析	野村保之
青柳貴士	感情表現を手助けするアプリケーションの開発	村田知也
朝井瑞樹	バイノーラルビートによる計算能力への影響	小松貴大
池川航史	GAを用いて設計したFSSによるMSAの利得向上効果に関する研究	川上由紀
井上俊之	雑音を考慮したFM一括変換システムのシミュレーション	西仁司
伊吹哉太	心拍数と時間評価の関係性	小松貴大
今田典文	磁界共鳴方式による無線電力伝送のコイル設計及び複数コイルへの送受電による送電効率への影響に関する研究	川上由紀
小川美輝	音を利用した子供向け学習教材「ぶろろん」	蘆田昇
狩野拓郎	アルゴリズム学習のための教材Gorigorithmの開発	蘆田昇
川村隆一	磁界共鳴方式における無線電力伝送の受電側コイル小型化に関する研究	川上由紀
木下誠也	Octaveによる生体電気信号解析方法を学習するための実験カリキュラムの提案	小松貴大
桑名秀太	シリカガラスの失透における結晶相転移メカニズムの研究	野村保之
小林貴人	マイコンによる室内模型飛行機の制御	高久有一
佐々木大爾	MPS法によるミルククラウンの生成シミュレーション	下條雅史
山東友樹	IchigoJamを用いたロボット制御システムの開発	蘆田昇
高野直也	シリカガラスの失透における結晶相転移メカニズムの研究	野村保之
高間健太	CUDA/GPUを使ったさらに現実的な水柱崩壊シミュレーション	下條雅史
竹内啓人	ワンチップマイコンとスマートフォンを用いた脈拍計の制作	高久有一
田邊雄太	鯨江断層とS波異方性について	野村保之
堂國友史	英単語教育アプリケーションの開発	村田知也
中村勇介	6足歩行ロボットの自律歩行について	村田知也
畠 優人	四足歩行ロボットの歩容生成とその評価	西仁司
濱田慎亮	ロボット制御用システムの制作	高久有一
福山怜史	WebAPIを「マッシュアップ」させた求人情報データベースシステムの構築	斎藤徹
藤塚拓実	SPH粒子法とCUDAを用いた銀河系の運動シミュレーション	下條雅史
寶生拓巳	RFIDを用いた小中学校における連絡支援メールシステムの構築	斎藤徹
前田勝太	Bluetoothを用いた放送用インターフォンの開発	西仁司
牧田光平	オープンデータのファイル形式・属性変換システム作成	斎藤徹
森長剛志	自己駆動粒子系における集団運動－2次元OV模型－	野村保之
山下美紅	タイピング技術を養うための「マット型巨大キーボード」の制作	蘆田昇
大和優介	タブレット端末を用いた電子回路シミュレーション	斎藤徹
山本雅之	散乱問題および二重スリット問題への量子力学的アプローチ	高久有一
横山さくら	オープンデータを用いた災害アプリケーションの開発	村田知也
渡邊拓哉	オープンデータの収集とデータベース作成によるデータ活用支援	斎藤徹
渡邊亮太	後方参照を取り入れた確率最適モデルによる渋滞の数値解析	野村保之

物質工学科

氏名	卒研テーマ	指導教員
愛宕由麻	好塙バチルス細菌からのプロトンポンプ阻害薬の探索	川村敏之
井川南海	硝酸銀水溶液からの合成した銀樹へのアガロースの影響	西野純一
岩岡奈穂	画像処理によるミジンコの挙動解析	平井恵子
岩屋千晶	TLCを用いた有機化学反応の反応追跡	津田良弘
内田敦之	色素修飾型高分子化合物の合成	松井栄樹
大西崇太	イオン液体を用いた未利用バイオマス(バガス)の前処理法の検討	高山勝己
柿木さとみ	近接気化型CVD法による銅添加酸化チタン薄膜の合成	西野純一
笠原 陸	シクロヘキセンのエポキシ化におけるテトラフェニルポルフィリンとビオロゲンの効果	津田良弘
加藤隆太	各種測定法による水銀測定の感度比較	小泉貞之
川端一成	金属イオンの土壤吸着性能に影響を及ぼす土壤成分分析	後反克典
川渕華綸	沖縄植物由来芽胞菌ライプラリーの作製と生理活性物質の単離	川村敏之
岸本彪志	化学工学実験の改善と新規実験テーマの導入	加藤敏
久島 懈	ジプロモビフェニル分解菌の土壤からのスクリーニング	高山勝己
越桐武児	D-アミノ酸酵素センサー構築のための基礎検討	高山勝己
古村一敬	カメラを用いた移動物体の接触判定	平井恵子
佐々木雄輝	レタス種子の発芽における光効果と電界効果の探索	上島晃智 坂元知里 高山勝己
清水貴弘	新規めつきプロセスによるLSI多層配線形成技術に関する基礎研究	常光幸美
下田京司朗	環境試料中のリンの高感度分析	後反克典
高棹玄徳	非経験的分子軌道計算によるDPCの最安定構造と原子電荷分布の解析	佐々和洋
高村愛香	好塙バチルス細菌からのプロトンポンプ阻害薬の探索	川村敏之
竹内大起	近接気化型CVD法による銅添加酸化チタン薄膜の合成	西野純一
田中浩大	画像処理によるミジンコの挙動解析	平井恵子
田中詩織	ウェットプロセスによるシリコンインター/ポーザ形成技術に関する研究—めつきプロセスの最適化—	常光幸美
谷川和樹	ゼオライトによるセシウムの吸脱着特性	小泉貞之
谷口竜之延	シクロヘキセンのエポキシ化におけるテトラフェニルポルフィリンとビオロゲンの効果	津田良弘
土肥晃也	化学工学実験の改善と新規実験テーマの導入	加藤敏
内藤篤哉	電子吸引性スルホニル側鎖を有するフタロシアニン化合物の合成	松井栄樹
長谷川沙紀	TOCによる固体試料の測定精度に及ぼす諸条件の検討	小泉貞之
林 緋香里	T G-D T Aを用いるプラスチック及びカルシウム塗の熱分析	小泉貞之
原 大翼	アンチモン耐性菌の新たな有効利用に関する検討	高山勝己
松浦佑真	分子動力学法によるDPCミセルの解析	佐々和洋
松村 岳	分子内にアンカー部を持つ置換フタロシアニンの合成	松井栄樹
三田村朋美	越前海岸から取得した寒天・アルギン酸分解菌の特性解析	上島晃智 高山勝己
宮川卓也	ウェットプロセスによるシリコンインター/ポーザ形成技術に関する研究—めつきプロセスの最適化—	常光幸美
森山幸祐	Bacillus sp.を用いたポリグルタミン酸バイオフィルムの生理機構の解明	川村敏之
吉田太一	カーボンナノチューブ表面への高配向な酵素固定化技術を目的としたビレン誘導体酵素の合成方法の確立	上島晃智 坂元知里
和田 涼	分子動力学法によるDPCミセルの解析	佐々和洋

各学科卒業研究・専攻科特別研究テーマ・指導教員紹介

環境都市工学科

氏名	卒研テーマ	指導教員
朝倉ななみ	北潟湖の水質改善を目的とした現況調査	奥村充司
石光博貴	ユニバーサルデザインの観点からみた福井高専の歩行空間の実態	江本晃美
井向日向	高専生に向けた構造解析に関するe-learningシステムの開発	阿部孝弘
奥出尚	黄鉄鉱含有土のスレーリング特性と力学的性質	山田幹雄
川岸鳳耶	足羽川の水面利用施設の土砂堆積軽減に関する研究	田安正茂
川口真吾	建築模型における3Dプリンタの再現性の検証	江本晃美
北野真優	GISを用いた土砂災害警戒基準と地域特性との関連	辻子裕二
小林一眞	熱画像カメラによる土の締固め度評価	辻子裕二
坂下和也	既設の戸建住宅を対象とした丸太を用いた液状化対策工法の開発	吉田雅穂
島野竜成	コンクリートのひび割れ深さの推定に関する研究	阿部孝弘
高嶋葵	UAVを用いた橋梁の点検方法に関する研究	辻野和彦
田中大貴	太陽光発電の変換効率向上に関する研究	香月壮亮
玉龍一	太陽光発電の変換効率向上に関する研究	香月壮亮
津田真衣	黄鉄鉱含有土のスレーリング特性と力学的性質	山田幹雄
寺川礼菜	北潟湖の水質改善を目的とした現況調査	奥村充司
戸田泰智	足羽川の水面利用施設の土砂堆積軽減に関する研究	田安正茂
橋本涼	写真を用いた災害文化伝承のためのホームページの開発	吉田雅穂
長谷川裕紀	足羽川の水面利用施設の土砂堆積軽減に関する研究	田安正茂
長谷川ゆか	黄鉄鉱含有土のスレーリング特性と力学的性質	山田幹雄
東出裕之	自助意識の醸成を促す「平成の防災ずきん」の開発	辻子裕二
前川和也	Felicity Design - デザインを通じて表現を学ぶー	江本晃美
松島亨	越前市が所有する文化財の動特性評価と防災対策の提案	吉田雅穂
宮野健人	Stadium VORTEX	江本晃美
村上凌	太陽光発電の変換効率向上に関する研究	香月壮亮
森恒太	UAVを用いた橋梁の点検方法に関する研究	辻野和彦
森淳之介	Factory Blocks - 鯖江繊維産業共同企業体の提案ー	江本晃美
山本千夏	UPZを対象とした原子力防災教材の開発	辻子裕二
山本真生	UAVを用いた橋梁の点検方法に関する研究	辻野和彦
渡辺廉人	黄鉄鉱含有土のスレーリング特性と力学的性質	山田幹雄
NAMSRAI DUGERSUREN	コンクリートのひび割れ深さの推定に関する研究	阿部孝弘

平成26年度 専攻科
特別研究テーマ・指導教員一覧

生産システム工学専攻

氏名	特研テーマ	指導教員
梅田雄太	実地試験に向けた水田用除草ロボットの改良	亀山建太郎
角本壯	周波数選択板を用いたマイクロストリップアンテナの利得向上効果に関する研究	川上由紀
桂一史	3G通信を用いた独立電源型フロート式水位計	米田知晃
小林康太	剛体運動シミュレータの作成	下條雅史
柴田裕矢	マーカレスARを用いた展示物展覧システムの制作	斎藤徹
平等悠介	自律型ロボットの走行制御プログラムの開発	西仁司
高見瑚太郎	チタン合金のエンドミル加工におけるナノ構造付与切削工具の摩耗特性及び切削温度	千徳英介
玉村実	エビングハウスマスクの各パラメータとマスク量の関係	小松貴大
道場充	HPT(高圧ねじり)加工した純鉄の組織と摩耗特性	加藤寛敬
西澤隆宏	低炭素鋼及び窒化された合金鋼表面に加工されたフェムト秒レーザー誘起ナノ構造の評価	安丸尚樹
野尻紗也香	糸太さにゆらぎを付加させる仮捻加工法に関する研究	金田直人
山中宏祥	入力制限条件下における最適方策を用いたサーボ系設計	佐藤匡
渡辺真広	ホームセキュリティシステムへの導入を目指したWi-Fiによるワンチップマイコンとスマホの通信	高久有一

環境システム工学専攻

氏名	特研テーマ	指導教員
按察竜輝	バイオリソースの構築とその活用法についての研究	川村敏之
岸本ほのか	簡易ルーフポンドの冷房熱負荷削減効果に関する効果検証	香月壮亮
木村峻	植物に関する電界の発芽促進効果に関する研究	高山勝己
住田裕亮	古紙糖化に関するアルカリ高圧前処理の有効性	高山勝己
竹内聰宏	日野川における砂州形成と砂礫移動の観測について	田安正茂
松田修	ALOS PALSARデータを用いた豪雨や地震を誘因とした崩壊地の検出	辻野和彦
山田悠貴	天日乾燥浄水汚泥の水分滲出特性と含水減量による安定処理効果	山田幹雄

学生の将来と進路

平成26年度 進路内定状況報告

本科生の進路は、平成21年度まではほぼ半数が進学という傾向にあった。しかし、リーマンショック以降は、大学等に比べ、高専の就職が不況下でも好調なため徐々に就職希望者が増えた、ここ数年は60%前後となっており、今年度も59.4%となった。現4年生の進路希望調査でも、就職希望の割合が全体の6割となっており、この傾向は今後も継続すると考えられる。

さて今年度の本校の就職状況は、アベノミクスと言われる経済対策により、全体の求人企業数は12月末の段階で、2年前が2626社、昨年度が3309社、そして今年度が3983社、県内でも、203、331、392社と順調に回復し、求人倍率も、本科で約29倍、専攻科で約62倍となり、リーマンショック前の水準に回復した。内定率もほぼ100%となっている。なお、県内への就職は、就職希望者の約38%で昨年なみである。求人増加の背景には、団塊世代の退職者増に対応して企業が技術力の継承を行うため、実践的な技術者教育を受けた高専生が期待されていることも関係している。しかし、経済がグローバル化し、世界各地で起こる政治、軍事、経済上の事象や自然災害などの影響が短時間で世界を駆け巡るようになって、企業は、様々な状況の変化に柔軟に対応できる、優秀な人材を求めている。そのため、求

キャリア支援委員会委員長 下條 雅史

人倍率の増加がしても、全ての学生の早期の就職の内々定に繋がっているわけではない。特に自己PRの内容が乏しく、コミュニケーション力が弱い学生が苦戦する状況は変化していない。

進学に関しては、大学編入学は昨年(42名)とほぼ同じ43名で、専攻科進学者は昨年の28名に対し26名であった。主な合格大学は、昨年と同様の福井大学、豊橋技科大、金沢大学、長岡技科大、に加え、一般的に難関と言われる阪大にも3名合格している。

本校は、低学年からのキャリア教育として、様々な講演会や高学年・専攻科学生による先輩フォーラムなどを、高学年には、合同企業説明会、大学大学院合同説明会、携帯等で検索可能な本校専用求人サイトなどによる情報提供など、他高専に先駆けた取り組みを推進している。これらの行事を通じて、多くの情報を集めて、自己実現に向けての最良の道を探るとともに、遠い将来に渡る自己の目標を立てて努力を重ね、得られた成果については、それを記録に留めていただきたい。

最後に学生の進路指導にご尽力された関係教職員のみなさまに、深く敬意を表しますとともに厚く御礼申し上げます。

平成26年度 進路内定状況

平成27年2月28日現在

学科	区分	卒業・修了予定者数	進学希望者数	内定者数		未定者数	就職希望者数	内定者数		未定者数	その他
				大学・大学院	専攻科			県内	県外		
本 科	機械工学科	34 (1)	14	9	5	0	18 (1)	4	14 (1)	0	2
	電気電子工学科	38 (2)	14 (1)	8	6 (1)	0	24 (1)	9	15 (1)	0	0
	電子情報工学科	37 (4)	16 (1)	14 (1)	2	0	19 (3)	8 (2)	11 (1)	0	2
	物質工学科	37 (11)	17 (2)	9	8 (2)	0	17 (8)	6 (4)	11 (4)	0	3 (1)
	環境都市工学科	31 (7)	9 (2)	4	5 (2)	0	21 (5)	8 (2)	13 (3)	0	1
	小計	177 (25)	70 (6)	44 (1)	26 (5)	0	99 (18)	35 (8)	64 (10)	0	8 (1)
専 攻 科	生産システム工学専攻	13 (1)	2	1		1	10 (1)	7	3 (1)	0	1
	環境システム工学専攻	7 (1)	0	0		0	7 (1)	3	4 (1)	0	0
	小計	20 (2)	2	1		1	17 (2)	10	7 (2)	0	1
合計		197 (27)	72 (6)	45 (1)	26 (5)	1	116 (20)	45 (8)	71 (12)	0	9 (1)

※表中の()は女子数で内数

学生の将来と進路

平成26年度 大学編入学試験・高専専攻科入学試験合格状況

平成27年2月28日現在

大学等	学部等	学科		機械工学科		電気電子工学科		電子情報工学科		物質工学科		環境都市工学科		合計	
		推薦	学力	推薦	学力	推薦	学力	推薦	学力	推薦	学力	推薦	学力	推薦	学力
秋田大学	工学資源学部		1												1
宇都宮大学	工 学 部												1		1
信州大学	工 学 部									1			1	1	1
	纖 維 学 部									1					1
筑波大学	情 報 学 群							1							1
長岡技術科学大学	工 学 部	1								1	3	1		3	3
東京工業大学	理 学 部							1							1
東京農工大学	工 学 部							1	1	1				1	2
金沢大学	理 工 学 域			2	3									2	3
福井大学	工 学 部	1	1			3	3	4	1	1				5	9
岐阜大学	工 学 部	1												1	
名古屋工業大学	工 学 部							1		1					2
三重大学	工 学 部												1		1
豊橋技術科学大学	工 学 部	4				5		2(1)	1				1	5	8(1)
大阪大学	工 学 部					2									2
	基礎工学部					1									1
神戸大学	工 学 部					1									1
	経営学部							1							1
広島大学	工 学 部										1				1
熊本大学	工 学 部												1		1
鹿児島大学	工 学 部		1												1
福井高専専攻科	生産システム工学専攻	4	1	3(1)	5			3						7(1)	9
	環境システム工学専攻									7(2)	1	5(2)		12(4)	1
合 計		11	4	5(1)	20	3	14(1)	12(2)	9	6(2)	5	37(5)	52(1)		

※表における合格者数は延べ人数を表す。()は女子で内数。

平成26年度 大学院入学試験合格状況

平成27年2月28日現在

大学院	専 攻		生産システム工学専攻		環境システム工学専攻		合 計	
	推薦	学力	推薦	学力	推薦	学力	推薦	学力
筑波大学 大学院グローバル教育院		1					1	
名古屋大学 大学院情報科学研究科		1					1	
北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科	1				1			
合 計		1	2			1	2	

※表における合格者数は延べ人数を表す。()は女子で内数。

活躍する仲間

第11回全国デザインコンペティションに参加して

「第11回全国デザインコンペティションに参加して」

3B 住本 龍仁

2014年初夏、デザコンへの野心を燃やす私は同学年の仲間とチームを結成しデザコンのテーマであるタワー作製にチャレンジしました。私たちは夏休みも毎日のように集まり創意工夫を凝らしたタワーで挑みましたが、4チーム中2チームのみが進める全国大会への道はそう甘くなく予選で脱落しました。

2014年秋、追加メンバー募集の話が私たちに舞い込み急遽、全国大会へ参戦することになりました。メンバー構成は予選を通過した留学生の先輩方と私と同級生の4人でした。先輩方とのタワー製作工程は大変勉強になり、途中から参加した私たちには思いもつかないアイデア、豊富な知識に度々驚かされました。

デザコン大会初日、タワーの組み立てとプレゼンテーションがありました。タワーの組み立て作業は問題なく速やかに行うことができ、組み立て終了時点でTop5に入りました。その後プレゼンテーションがあり、発表は私が1人で行いました。私にとって発表は中々のプレッシャーではありましたが、しっかりと発表できたと思います。

デザコン大会二日目、タワーの耐風、耐震試験がありました。耐風試験は問題なくクリアできましたが、耐震試験ではすぐに倒壊してしまいました。その分、来年のデザコンに活かすため他高専の発表を聴き、タワーの観察を行い、多くのことを学びました。これらは、私たちにとって非常に良い経験・収穫になりました。

上位に食い込むことはできなかったですが、参加してみると分からぬことが多い、参加した価値があったと思っています。デザコンに携われた諸先生方、先輩方、このような大変勉強になる貴重な機会を与えてくださり本当にありがとうございました。



国際シンポジウム発表体験記

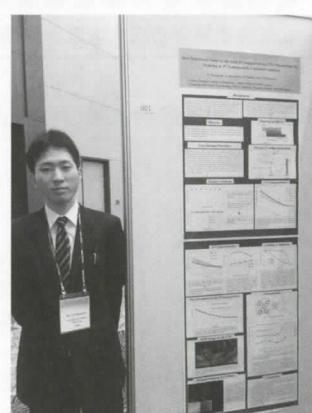
「初めての国際会議」

5E 宮越 雄太

私は11月11日から3日間韓国の釜山で開催された国際会議「HyMaP」に、電気電子工学科の西城先生と同僚のともで参加しました。HyMaPはハイブリッド材料とそのプロセスに関する国際会議で、ISTSのような学生向けの国際会議ではありませんでした。そのため、Oral発表のほとんどは大学の先生方でした。私はポスターでの発表で、タイトルは「Dye-Sensitized Solar Cells with Pt Supported on FTO Membrane by Soaking in Pt Nanoparticle Colloidal Solution」でした。9月30日にAbstractを提出し、10月10日に査読の合格通知がきました。

光合成型太陽電池とも呼ばれている色素増感太陽電池の正極は一般に、白金蒸着膜あるいは白金の粒子を焼結して作られます。しかし、私が所属する川本研究室では透明のFTO（フッ素入酸化スズ）電極を溶液に浸漬するだけで、電極表面に白金のナノ粒子を付着させる方法を開発し、浸漬法と名付けました。この方法は、色素増感太陽電池の低コスト化に寄与します。今回の発表内容は、これまでの先輩方の研究成果に本年度の研究成果を加えたものになっています。

発表当日、質問に対して英語で的確に答えることができました。事前に質問対策していたこともあり、英語で困ることはませんでした。本科生が海外の国際会議に参加するのは初めてということで、プレッシャーを感じましたが、度胸試しのつもりで参加しました。自分の話す英語が伝わるかどうか不安でしたが、伝えようという気持ちがあればなんとなるものだと思いました。私でも国際会議で発表ができるので、同級生もぜひ海外での研究発表にチャレンジして欲しいと思います。来年進学する専攻科でも、国際会議に参加したいと思います。



活躍する仲間

第8回東海北陸地区高等専門学校英語スピーチコンテストに参加して

"From Flute through Percussion"

2C 木下 明日香

英語スピーチコンテストに出場することが決まり、それまで人前でスピーチをした経験はほとんどなくてそれが英語になると思うととても不安でした。原稿を考える段階ではまず日本語で考えたものを英語に訳すのにとても苦労しました。しかし吉田先生に助けていただきながら、自分で意味をちゃんと理解できる原稿を作ることができました。

原稿ができるからが更に大変で、まずはスラスラと読めるようになる必要があったのですが、発音が難しくてどうしても不自然になってしまふ部分がたくさんありました。そのような箇所はまた吉田先生、村先生と相談して自分の伝えたいことが伝わる範囲で違う言葉に変えたりしてスピーチを作り上げていきました。

私が今回のスピーチで話したのは、中学の時から続いている吹奏楽部での経験を通じて自分が学んだことについてでした。自分が本当にみんなに伝えたいことだったため、たとえ英語になったとしても聞いて下さっていた方々にしっかりと伝えることができました。本番後には会場に来ていた外の方に英語で「フルートの話をした子よね。」という風に話しかけられ、私のスピーチに対する感想を伝えてもらいました。自分のスピーチが外人の方にもちゃんと伝わったことがとても嬉しかったです。また、自分の思いを今回のように正式な場で大勢の方に聞いていただくことはとても良い経験になりました。

The 8th Annual Tokai-Hokuriku
Kosen English Speech Contest



第23回全国高等学校文化連盟将棋新人大会福井県大会に参加して

僕と最後の新人戦

2E 小田樹也

僕達団碁・将棋部は11月に行われた県予選を勝ち抜け、見事に1名代表になって翌年1月末に行われた全国高等学校文化連盟新人大会に出場しました。

皆さんは全国高等学校将棋選手権大会、近畿高等学校総合文化祭の2つで団体戦が強いというイメージを持っている方も居るかもしれません、個人の力も他校の選手に引けに劣らぬ力の持ち主です。特に副将の奥田君に関しては他県の有力選手に一目を置かれています。

そんな中出た県予選でしたが、何の巡り合わせかトーナメント準決勝は自分対奥田君という高専生同士の潰し合いとなりました。代表は2名なので勝った方が代表、負けた方は敗退という両者負けられない戦いとなりました。特に自分は去年代表になれていなかったので最後のチャンスになります。

結果は奥田君が勝ち、決勝で北陸高校の河村君を下し、優勝を果たしました。その後新潟県で行われた全国大会に福井県からは男子の部は決勝で戦った2名、女子の部は武生商業高校の吉村さんが出場しました。奥田君たちは全国大会でも頑張ってくれました。

最後に、負けてしまって悔しい自分が居る反面、自分より若い子たちが活躍していくのが楽しみな自分も居ます。皆が強くなるよう、自分も戦い続けるべきでしょう。

いつも大会に出場する時に尽力していただいた学生課の皆様及び大会設営に尽力頂いた学校関係者の方々に感謝の意を示しつつ、筆を置かせていただきます。



活躍する仲間

平成26年度 優秀学生賞



独立行政法人
国立高等専門学校機構
理事長表彰
電気電子工学科5年
横町 伝



日本機械学会
畠山賞
機械工学科5年
永野 法行



公益社団法人
計測自動制御学会北陸支部
優秀学生賞
機械工学科5年
山下 誉裕



電気学会北陸支部
優秀学生賞
電気電子工学科5年
米田 隆心



公益社団法人
日本電気技術者協会北陸支部
優良卒業生
電気電子工学科5年
山崎 郁実



一般社団法人
映像情報メディア学会北陸支部
優秀学生賞
電気電子工学科5年
高尾 大樹



電子情報通信学会北陸支部
優秀学生賞
電子情報工学科5年
前田 勝太



情報処理学会北陸支部
優秀学生賞
電子情報工学科5年
今田 典文



公益社団法人
日本化学会近畿支部
優秀学生賞
物質工学科5年
久島 慎



公益社団法人
日本化学会近畿支部
優秀学生賞
物質工学科5年
内藤 篤哉



福井高専工業化学科
物質工学科同窓会
悠志会賞
物質工学科5年
長谷川 沙紀



全国高専土木工学会
近藤賞
環境都市工学科5年
北野 真優



福井高専土木工学科
環境都市工学科同窓会
翔士会賞
環境都市工学科5年
山本 千夏

活躍する仲間

平成26年度 資格取得者一覧 (速報・判明分のみ)

本科生

資格名	氏名	学年学科	氏名	学年学科	氏名	学年学科	氏名	学年学科
基本情報技術者試験	福山 恵史	5EI	小川 久介	3EI				
工業英検3級	和田 拓朗	3EI						
危険物甲種	浅田 浩利	3C	中山 玲司	3C	松葉 悠真	3C		
危険物乙種全類	辻 大介	4C						
第2種電気工事士	榎並 悠馬	3E	坂東 康紀	3E	中塚 岳明	2E	成田 匠希	2E
技術士一次試験(建設部門)	松島 亨	5B	高田 康平	4B	塙本 淳正	4B	中村 泉生	3B
	船木 啓太	3B	高橋 美玖	3B	三村 優太	3B		
技術士一次試験(上下水道部門)	北野 真優	5B						
機械設計技術者3級	北崎 友哉	4M	清水雄太朗	4M	竹内 裕人	4M	角鹿 拓哉	4M
	水上 裕太	4M	水野 優	4M	堀内 慎司	4M		
CAD利用技術者試験2級	橋本 芹菜	4B	山下 茉莉	4B	新谷 雅浩	4M	上木 裕友	4M
	海道 智也	4M	北崎 友哉	4M	小浪 文太	4M	友広 智	4M
	堀内 慎司	4M	松村 修杜	4M	水上 裕太	4M	水野 優	4M
	山下 航平	4M	田中 宏和	3M	林田 剛一	3M		
測量士補	瀬川ひかり	4B	奥田 祐女	3B	勝見 大雅	3B	高橋 美玖	3B
	竜田 晃樹	3B	敦賀 勇介	3B	中村 泉生	3B	西野 亜海	3B
	船木 啓太	3B	水上 柚香	3B	宮野加奈子	3B	宮本 紗樹	3B
	吉田 圭輝	3B	幸永 幹真	3B				
コンクリート製品検定(中級)	岩間 亮友	4B	宇佐美怜志	4B	加藤 桃子	4B	島田瑛実香	4B
	高田 康平	4B	高田和佳菜	4B	田中 幹	4B	鳥居あすか	4B
	中島 真名	4B	瀬川ひかり	4B	山下 茉莉	4B	山本 武	4B
コンクリート製品検定(初級)	石坂 孝佑	4B	大塚 慎也	4B	小笠原 優	4B	加藤 黒花	4B
	高島 瑞貴	4B	坪井 俊樹	4B	坪川 貴太	4B	東江 栄斗	4B
	堂山 翔平	4B	西川 貴志	4B	野中 貴広	4B	船野 競太	4B
	宮下 晃弥	4B	村上 凌	4B	山田 裕正	4B	上山 沙好	3B
	奥田 祐女	3B	加藤 恵資	3B	釜井 剣	3B	小西 希依	3B
	住本 龍仁	3B	関本 大晟	3B	高橋 美玖	3B	竹島僚汰朗	3B
	土本 嘉惟	3B	敦賀 勇介	3B	中本 邦子	3B	西野 亜海	3B
	廣中 未来	3B	深井 弘一	3B	藤田 瑞姫	3B	堀 亜希菜	3B
	松浦 透	3B	水上 柚香	3B	三村 優太	3B	宮野加奈子	3B
	山崎 大嗣	3B	吉田 圭輝	3B	吉村 紗愛	3B		
防災士	澤田 直也	1ES	樋本 陽介	1ES	田谷 修人	1ES		
	朝倉ななみ	5B	井向 曜向	5B	奥出 尚	5B	川岸 鳳耶	5B
	北野 真優	5B	小林 一眞	5B	島野 竜成	5B	高嶋 葵	5B
	寺川 礼菜	5B	橋本 凉	5B	東出 裕之	5B	山本 千夏	5B
	山本 真生	5B						
英検2級	八田 文菜	4C	江口 航平	3C	宮川 彩	3C	大柳 慶悟	2EI
英検準2級	内田 喜一	3C	奥田 雄斗	3C	佐々木雅俊	3C	嶋田 七海	3C
	松島 離子	3C	山野 由佳	3C	田中柚莉亞	3E	関 彩奈	3M
	曰下 翼	3EI	内海安久璃	2E	長谷川 謙	2E	大柳 慶悟	2EI
	高島 颯也	2EI	野村 弘樹	2EI				
数検準2級	小田 樹也	2E	中垣 和人	2E				

見学旅行

見学旅行について

見学旅行を終えて

3M 辺 見 拓 雄

高専生活も折り返し地点を過ぎ、そろそろ自分自身の将来について真剣に考えなければならなくなってきた3年後期半ばに、高専生活5年間において最大の行事である見学旅行が実施されました。

私達機械工学科は、中京・関東方面をメインとした前半4日間の日程の中で、3つの企業(日本車輌製造(株)、新日鐵住金(株)、日産自動車(株))と1つの大学(豊橋技術科学大学)を見学させて頂きました。実際に現場で働いている高専卒業生の方の話を聞く、大規模な作業を間近で見る、大学で行っている研究を見学する等、普段の授業ではできない貴重な体験ができて、4日間という短い期間をとても有意義に過ごすことができました。

前半の研修は専門的な分野に重点を置いた内容で、もちろんそれもエンジニアを志す者として重要なことだと思いますが、それよりも私は後半の自主研修の方が大切なことを多く学ぶことができたと思います。事前に自分達で旅行の計画を企て、見知らぬ土地で自分達で考えて行動をする。このように、人に任せきりにするのではなく、自立して行動することが、「エンジニアとして」、というよりも「人として」最も求められていることなのではないかと思います。



見学旅行を通して

3E 山 下 翔

僕たち3Eは見学旅行で東京を中心とした関東方面に行きました。

電源開発(J-POWER)、サントリービール工場、ISUZUトラックの3社で工場見学をしました。三日目にはクラスみんなでディズニーシーへ行き、四日目からの班別研修も色々な所を回りました。一週間という短い期間でしたが、とても充実した楽しい思い出ができました。

特に印象に残ったことは二日目のISUZUトラックの工場見学です。ベルトコンベア上で部品の取り付けを人と機械が共に作業していて、その規模の大きさに圧倒されました。

また、この見学旅行を通してたくさん大切なことを学びました。特に、一人が勝手な個人行動を行うことによって、団体行動そのものに支障が出てしまいます。それを避けるためにも一人一人が自分の行動に責任を持つということの大切さを改めて感じました。

無事一週間の見学旅行を終えて、楽しい思い出とともに色々な事を経験できてとても良かったです。この高専での見学旅行に携わってきた人達に感謝したいです。



見学旅行

見学旅行について

研修旅行を終えて

3E1 小川久介

高校生の最高の思い出として、修学旅行があげられることが多い。一般に高校生は修学旅行で沖縄に行くことや遊園地に行くことが多いだろう。高専にもそれにあたる研修旅行というものがあるが、内容は異なる。研修旅行では、会社見学・説明をメインとし、そのついでに観光を楽しむ。観光と会社見学だと、どちらが良いかというと、観光の方が良いと考える人がいると思う。僕自身も観光の方が良いと思っていた。だが、研修旅行に行ってみると、会社見学をして、良い経験になったなと感じた。その理由として、会社の概要だけでなく、会社の内部を見学し、現場の人の話を聞くことができたことが大きい。実際に会社で働いている人の話を聞けることはめったにない。さらに、高専出身で就職をした人の話も聞くことができた。

僕にとって、研修旅行は良い経験になった。1・2年生には、研修旅行にあまり期待していない人がいるかもしれない。だが、めったにない経験なので、ぜひ楽しんでほしい。

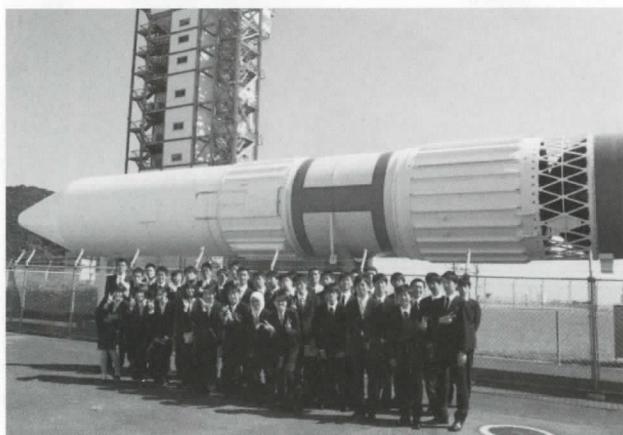
たびものがたり

3C 田中美和

鉄鉱石から鉄を取る。私たち物質工学科は、八幡製鉄所へ工場見学に行きました。敷地が東京ドーム約237個分もあるそうで、その広さに圧倒されました。各工場間は車で移動を行いました。工場内では真っ赤な鉄の塊を水で冷やしていました。けっこ離れているのに、熱が伝わってきてとても暑かったです。ダイナミックな鉄鋼製品の製造を肌で感じることができました。

それと、夏休みから計画を練っていた自由行動。わくわくの連続でした。U.S.Jハリーポッターエリアでのバービールでの乾杯。夜のゾンビナイトのダンス。お土産に買ったカエルチョコ。どれも友達との最高の思い出になりました。

今でも、写真やしおりを眺めていると、あのときの研修旅行が昨日のことのように思えます。写真はたくさん後反先生に撮っていただきました。とても感謝しています。自分たちで計画をたてて、その通りに行動するのはけっこ大変なことだと実感しました。また一つ勉強になりました。物質工学科のみんなと旅ができる、本当に楽しかったです。



見学旅行・校外研修

見学旅行について

見学旅行から学んだこと

3B 竜田 晃樹

3Bは4日間かけて神戸、大阪、福岡に行きました。その中で印象的だったことを紹介します。

高専で学習した「建築計画」や「都市計画」がより親密に感じられた「アクロス福岡」での研修は、非常に勉強になりました。階段状のステップガーデンという大規模な屋上緑化が特徴であり、隣の公園と一緒にしたラントスケープを構成する建物であり、植栽計画、建物の構造と工夫についての説明を受け、普段は立入禁止のオペレーション室、機械室ではノイズを取り除き電圧を安定させるコンデンサなどの設備の説明を受けました。大阪では大林組が工事を行っているJR西日本の片町線の「放出駅」の線路切替工事の現場を見学し盛土等の工程の説明を受け、住宅地の中での現場ならではの近隣住民への配慮の説明も受けました。電車好きの中村先生が一番イキイキしていました。

他学科は工場内での見学が多かったようですが、私たちは屋外の現場を見学することで、土木特有の屋外での施工管理という将来の仕事をする自分を実感できました。香月先生もホテルでぐっすり眠ってしまうくらい楽しい旅行でした。とても勉強になつた楽しい4日間でした。



校外研修について

工場見学で学んだこと

2M 宮下 勇希

実際に工場に入り、自分の目で製造ラインを目にする機会はとても貴重だと思います。そのため、当日は期待と興奮で胸がいっぱいだったことを覚えています。僕たち2Mは工場見学先に、建設機械などを製造しているコマツ粟津工場と加工系専用機械の製造をしている株式会社イワシタを訪れました。

引率され入った工場はとても広く、製造ラインの規模の大きさに驚きましたが、この工場見学で一番印象に残ったのは、OBの方のコマツのダントツ商品とイワシタの専用機械についてのお話でした。コマツの他社が数年で追いつけない特長を設ける、イワシタの加工の内容に応じて機能をつけるというこの2つは似ているように思え、また、それらこそがこれからの工場の発展に求められるものだと感じました。

また、OBの方からのアドバイスとして、コミュニケーション能力、法令順守、そして報告・連絡・相談などが社会に出てから必要になると聞きました。この3つは学校生活においても大切なことであるため、普段から守るよう意識し、自身を高めて来年の研修旅行などに臨んで行こうと思います。



校外研修

校外研修について

「意識」

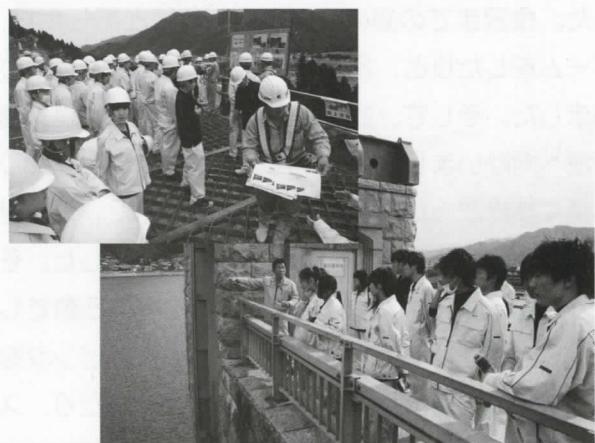
2B 高 村 亘

2Bは、校外研修で九頭竜川鳴鹿大堰(永平寺町)と中部縦貫自動車道の工事現場を見学しました。校外研修に出る前、僕は「楽しい校外研修になればいいなあ・・・。」と、そんな軽い気持ちでいました。

2Bを乗せたバスは、まず鳴鹿大堰に到着しました。説明を受けていると、高専の先輩が出てきて、仕事について熱く語ってくださいました。実際に堰を見学すると、すごくやりがいのある仕事なのだろうなと思いました。次に中部縦貫自動車道の工事現場を見学しました。山道はすごく険しくてこんな現場で仕事をしているのだと思うと驚きました。ここでも、従業員の方々が、やりがいをもって仕事をされていたのが心に残っています。

今回の校外研修を通して、僕の出発前の気持ちは変わっていました。実際に高専の先輩が社会で活躍

しているのを見て、1つ大切なことが分かりました。それは、将来の自分を「意識」してこれから学校生活を送っていくということです。社会に出てから恥ずかしい思いをしないように、今から将来の自分を「意識」して、立派な高専卒のエンジニアになりたいです。



平成26年度 第2学年校外研修先一覧

学 科	研修日	研 修 先	引率者
機 械 工 学 科	10月31日(金)	コマツ 粟津工場	原 口 治 人 金 田 直 人
		株式会社イワシタ	
電 気 電 子 工 学 科		パナソニック株式会社 オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社	井之上 和 代 大久保 茂
		北陸電力株式会社 敦賀火力発電所 PR施設	
電 子 情 報 工 学 科		株式会社松浦機械製作所	大久保 弦 紀 川 上 由 紀
		福井テレビジョン放送株式会社	
物 質 工 学 科		株式会社鯖江村田製作所	山西 田 哲 也 野 純 一
		信越化学工業株式会社 武生工場	
環 境 都 市 工 学 科		九頭竜川鳴鹿大堰管理所・九頭竜川流域防災センター	吉 田 三 郎 田 安 正 茂
		中部縦貫自動車道 永平寺大野道路 2工区 (永平寺町 轟・光明寺 地係)	

遠足

遠足について

金沢遠足

F1 清川岳寛

私たちF1は、金沢に遠足に行きました。まず朝に福井駅に集合する人は集合し、金沢に向かいました。金沢に行くまでの途中の駅で他の人も合流しました。金沢までの道のりが長く、友達と話したり、ゲームをしたりと、各々がいろんな時間潰しをしていました。そして、金沢駅につくとまず21世紀美術館へ向かいました。21世紀美術館までの道のりも長く歩きだったのでとてもつかれました。21世紀美術館の前でクラスの集合写真をとりました。そこからはそれぞれ好きなグループで自由行動でした。ショッピングモールに行って、ショッピングをしたりする人もいれば、ゲームをして遊んだり、スタバなどで楽しんだり、食べ歩きや、寺や神社など古く趣きのある建物を巡る人もいました。自分は食べ歩きやゲームをして遊んでいました。とても充実していました。そして、また金沢駅に再集合し、また長い時間をかけて福井に帰りました。

金沢遠足は、F1として、いい思い出が残せてとても良かったし、充実した一日が過ごせて、本当に良かったです。



F5での遠足

F5 林 憲輝

F5の遠足で、ラポーゼかわだでバーベキューをすることになりました。やることはバーベキューと広場で遊ぶぐらいのことしかなく、最初は退屈だろうと思っていました。しかし、行ってみると全くそんなことはありませんでした。広場では、久しぶりにドッヂボールや缶けりなどを夢中でやりました。その時、仲の良い人とはもちろん、これまであまりしゃべったことのなかった人たちとも一緒に遊び、気がついたら何時間も経っていました。バーベキューもみんなと手分けして肉を焼いたりして、楽しく食べられました。この遠足があったのは10月で、入学してから約6か月経っていましたが、あまり接点がなかった人ともこの遠足で仲良くなれたりして、その人のイメージやクラス全体のイメージが少し変わりました。そして帰るころには、もっとみんなと遊んでみたいと思いました。自分で、このクラスでの楽しい思い出になりました。自分は、このクラスはにぎやかで一緒にいると楽しいクラスだとこの時感じたので、このクラスの一員になれて良かったと思います。



JOINTフォーラム・コンテスト表彰式

「JOINTフォーラム2014」を開催

12月1日（月）、サンドーム福井において「JOINTフォーラム2014」を開催しました。

本フォーラムは、本校と福井県内の企業及び産官学連携関係者との結びつきを深めることを目的として、地域連携テクノセンター主催で実施しているものです。今回は異分野連携イノベーションとして農工連携による次世代農業をメインテーマに掲げ、福井大学や地元企業、本校の教育研究支援組織「地域連携アカデミア」会員企業、本校教職員など約100名の参加がありました。

松田校長の開会挨拶に続き、福井県産業労働部プロジェクトマネージャーの保坂氏による特別講演、また、農林業に関する研究に取り組んでいる本校教員5名による発表などが行われました。プログラムの後半では、発表者のほか、アカデミア会員企業及び新任教員によるポスター発表が行われ、活発な意見交換が行われました。

閉会にあたって、同センター長から、本フォーラムをきっかけとした交流を行い、産官学連携活動の推進に寄与したいとの挨拶があり、盛況のうちに閉会となりました。



第20回 マグネットコンテスト表彰式を実施

2月18日（水）、校内において「第20回マグネットコンテスト」入賞者の表彰式を執り行いました。

同コンテストは、ものづくり教育の一環として、レア・アースマグネットの世界的生産拠点である信越化学工業（株）武生工場の協力を得て平成7年度から実施しているもので、第20回となる今回、アイデアを募集したところ、県内外の小中学生、高校生、高専生、大学生から総数1,449件ものアイデア作品が寄せられました。

厳正なる審査の結果、最優秀賞から佳作までの26作品が受賞し、そのうち最優秀賞を含めた受賞者9名が表彰式に招かれ、表彰式では、受賞者が緊張した様子で賞状を受け取っていました。

表彰ののち、審査員からアイデアへの講評やアドバイスなどがあり、式後の懇談会では、第20回

を記念して制作された歴代の受賞作品が展示され、受賞者は興味深そうに作品に触っていました。



クラシックコンサート

第6回 福井高専クラシックコンサート

企画室長 田 中 嘉津彦

今や恒例の学校行事となったクラシックコンサートを、去る11月13日(木)に「福井県立音楽堂ハーモニーホールふくい」にて開催しました。ご存知の方も多いかも知れませんが、同ホールは北陸地方唯一を誇るパイプオルガンを所有しています。しかし、他の楽器に比べるとその生の音色を鑑賞する機会は少なく、そこで今回は関係者の特別なお計らいによりパイプオルガン(オルガニスト：長谷川佳子氏)、ピアノ(ピアニスト：高橋かほる氏)及び声楽(ソプラノ歌手：飯田美奈子氏)によるアンサンブルとすることことができました。

松田校長の開催挨拶の後、コンサートは二部構成で進められ、第一部では“ウェストミンスターの鐘”を始めとする8曲を、第二部ではJ.S.バッハ作曲の“トッカータとフーガニ短調”を皮切りに6曲を、重厚、華麗且つ煌びやかに演奏していただきました。演奏曲目は高橋氏が親しみやすい軽妙な語り口によって解説され、長谷川氏からはパイプオルガンの歴史や音が発せられるメカニズムなどの説明がなされました。また、第2部での“オペレッタ「こうもり」”では、飯田氏は聴衆の一人を舞台に招き入れオペラ風の寸劇を演じるなど、終始和やかな雰囲気を演出され、クラシック音楽の奥深さや醍醐味を堪能させていただきました。閉演後のアンケートでは、本校学生及び地域の方々約900名の約8割以上から満足であったとの回答を頂戴しました。

クラシックコンサートの開催意義は、将来エンジニアとなる学生諸君に専門分野の技術力(実践力・創造力等)のみならず、豊かな人間性や幅広い教養も身に付けてほしいということにあります。小さく限られたことだけに満足することなく、異分野にも積極的に触れ、様々な体験等を通して裾野の広い人間としての成長があつてこそ、真のエンジニアであると考えます。

コンサート開催に際しては、今回も学内外の多くの関係者各位のご協力とご支援を賜りました。ここに紙面を借りて衷心より厚く御礼申し上げます。



中学生の皆さんへ

中学校だより

河野中学校から

河野中学校は日本海を眼下に望む海拔40メートルのところに建ち、天気の良い日には丹後半島まで見渡せます。冬は、清楚な水仙の花が荒れた海にも鉛色の空にも負けず、校舎の周りで咲いています。

平成27年度の生徒数は35名。少ない人数に手厚い指導が行われているのが自慢です。楽しくわかりやすい授業をモットーとしつつ、部活動前にはスタディプラスという名称の質問時間を作っています。

また、力を入れているのが、『夢を語ろう』という、ゲストティーチャーを招いての講演会です。昨年は1回目にフェンシングのオリンピック選手である中野希望選手をお迎えして、オリンピックへの道のりを話していただきました。2回目はNHKの連続ドラマ『てっぱん』の脚本を書かれた関えり香氏から、夢がかなうと信じて疑わなかった青春時代の話を伺いました。このように今年も郷土の若い先輩方から、夢に向かう力をいただく予定です。

また、ふるさと学習にも力を入れています。昨年度は地元の方の指導を受けて、梅干を作ったり、へ

南越前町立河野中学校

しこを作ったりしました。今年はそのへしこを使った調理を工夫する予定です。また、毎年、郷土の歴史を学ぶ時間も設けています。昨年は『特務艦関東と女たち』と題する講談を地元出身の方に語っていただき、大正年にあった遭難事故とそれを救おうとした地域の人々について学ぶことができました。

また、南越前町はキャリア教育の一環として、夏休みに5日間の職場体験（14）を行っているのが特徴です。南越前町の多くの事業所のご協力を得て、働くことについて学び、笑顔や挨拶のすばらしさをも学んでいます。

このように、河野中学校の生徒たちは地域の皆さんに支えられて成長し、地域とともに歩む人となるよう頑張っています。



平成27年度 入学者選抜について

平成27年度入学者選抜は、推薦選抜が1月18日（日）に本校で、学力検査が2月15日（日）に本校、福井市地域交流プラザ、敦賀商工会議所及びひこね燐ばれすで理科、英語、数学、国語、社会の5教科により実施された。

2月19日（木）午後1時に205名の合格者を本校掲示板及びホームページ上に掲載した。合格者205名のうち、県外合格者は21名（石川県2名、滋賀県19名）であった。

平成27年度入学者選抜実施状況一覧

学 科	募集人員	志願者数			合 格 者 数			計
		推 薦	学力検査	倍 率	推 薦	学力検査	工学基礎コース	
機 械 工 学 科	40 人	26 (4) 人	35 (3) 人	1.53倍	19 (4) 人	22 (1) 人	8 人	41 (5) 人
電 気 電 子 工 学 科	40	19 (4)	37 (2)	1.40	19 (4)	22 (2)	8	41 (6)
電 子 情 報 工 学 科	40	29 (4)	42 (1)	1.78	19 (4)	22	9	41 (4)
物 質 工 学 科	40	19 (11)	28 (8)	1.18	19 (11)	22 (5)	8 (2)	41 (16)
環 境 都 市 工 学 科	40	28 (9)	46 (6)	1.85	19 (7)	22 (4)	8 (1)	41 (11)
合 计	200	121 (32)	188 (20)	1.55	95 (30)	110 (12)	41 (3)	205 (42)

(備考)(1)()内の数字は、女子で内数。(2)倍率=志願者(推薦+学力検査)÷募集人員

学園通信

平成26年度 留学生懇親会

留学生主任 加藤清考

昨年12月9日に、鯖江市国際交流協会の会員の皆様をお迎えし、松田校長をはじめ外国人留学生6名とそのチューター、指導教員を含む総勢40名による留学生懇親会を開催しました。

懇親会では、今年度タイから国費留学生として機械工学科に入学したオパル君と、マレーシアから政府派遣留学生として電子情報工学科に入学したアリアさんが、パワーポイントを使って自己紹介及び母国紹介をしてくれました。発表後、会場からたくさんの質問が出て、大盛況でした。学生の皆さんも、彼らから日本と異なる学校制度や、おいしい食べ物の話等、非常に興味深い話を直接聞いてみてはいかがですか？

先輩留学生のアマルル君、チューターの岩上君も素晴らしい代表挨拶をしてくれました。

今年のアトラクションは、昨年以上に留学生とチューターが事前に何度も打ち合わせや練習をしました。「留学生への質問コーナー」では、石橋君、木村君の名（迷？）司会コンビと、留学生のユーモアなやり取りが印象的でした。その後は、「Let it go—福井高専オリジナル5か国バージョン」の披露です。留学生とそのチューターがペアになり、留学生の母国語で、曲のフレーズをリレー形式で歌い上げました。みんな一生懸命歌ってくれて、感動しました。練習の時より、本番の方が数段うまかったですよ！アイデアを出してくれた森君、ありがとう。

懇親会は立食形式で、終始和やかな雰囲気で進みました。時間の関係で、質問コーナーのために用意してくれていた質問の2つしか披露できませんでした。残りの質問は、是非来年度に披露してくださいね。



平成26年度 福井工業高等専門学校卓越した 学生の表彰及び 校長特別賞・ 校長賞受賞者

平成26年4月24日(木)と平成27年1月22日(木)に、福井工業高等専門学校卓越した学生の表彰及び校長特別賞、校長賞受賞者の表彰式が行われた。

これは、本校の「学生表彰基準」に基づき表彰されるもので、第一体育館において全校学生の前での表彰式となり、松田校長から受賞者に賞状と記念品が手渡され集まった学生から拍手で祝福された。

福井工業高等専門学校卓越した学生

横町 伝	5E	松村 岳	5C
渡辺 真広	2PS	岸本ほのか	2ES

校長特別賞

●公益財団法人ボイスカウト日本連盟より富士章受賞	
坂下 郁子	4C

校長賞

●第49回北陸地区高等専門学校体育大会(優勝)				
◎ソフトテニス部 (女子団体戦)	前川 華歩	4E	山下 茉莉	4B
	中本 邦子	3B	西野 亜海	3B
	坂井 志帆	2EI	加藤 風捺	2C
	鬼塚 愛華	2B	島田瑛実香	4B
◎野球部	黒田 健人	5M	嵐 柚貴	5E
	小川 翔悟	5E	渡邊 亮太	5EI
	村上 凌	5B	小林 一眞	5B
	山本 真生	5B	戸田 泰智	5B
	石橋 健太	4M	黒田 喬介	4E
	千歩 裕和	4E	藤田清司郎	4EI
	梅田 幹人	4EI	宇佐美怜志	4B
	後藤 嵩裕	4B	村上 達哉	4B
	田中 宏和	3M	中島 真名	4B
◎卓球部 (女子団体戦)	高田和佳菜	4B	五十嵐春希	4B
	北川真由子	3M	田中 碧	3C
	藤田 瑞姫	3B	鈴木 優	2C
	黒河雅菜代	F2	護城 歩	F2
	山貴 緋咲	2B		
◎卓球部(女子シングル)	鈴木 優	2C		
◎卓球部(女子ダブルス)	藤田 瑞姫	3B	鈴木 優	2C
◎水泳(男子400m・800m自由形)	立壁 涼虎	F2		
◎水泳(女子100m自由形)	八田 朱里	2C		
◎剣道部(女子個人戦)	早瀬 夏貴	2EI		

●アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2014 東海北陸地区大会アイデア賞受賞

◎ロボット部 (Aチーム)	橋本 知明	4M	山田 佳孝	4M
	青柳 亮汰	4M	吉村 洋輝	4E
	林田 剛一	3M	山崎 港大	3M
	佐野 純希	3E	牧田 幸大	3E

●第34回近畿高等学校総合文化祭将棋部門団体戦3位ならびに 平成26年度福井県高等学校将棋選手権大会団体戦優勝

◎囲碁将棋部 (団体戦)	中山 瑠司	3C	小田 樹也	2E
	奥田 真史	F1		

●第3回国際技学カンファレンスin長岡優秀ポスター講演賞受賞

	北代 彩椰	1ES		

●G空間×ICT北陸まちづくりトライアルコンクール部門賞「安心安全な社会賞」受賞

	山本 真生	5B	高嶋 美葵	5B
	森 恒太	5B		

●学習到達度試験優秀成績者

	水野 優	4M	山下 誠人	4E
	出口 風人	4EI	廣島 健亮	4EI
	山下 隼人	4EI	川尻 恵	4C
	中山 和也	4C		

●第3回小水力発電アイデアコンテスト

優勝・技術大賞・地域貢献賞・効率賞・出力賞受賞

◎THE研究会	勝見早斗士	5M	黒田 健人	5M
	斎藤 治樹	5M	通自 達也	5M
	永野 法行	5M	濱内 崇行	5M
	水上 瞭	5M	宮本 浩彰	5M
	市橋 勇志	5E	小川 翔悟	5E
	白崎 大吾	5E	早瀬 佳祐	5E
	山本 唯希	5E	奥出 尚	5B
	橋本 涼	5B		

平成27年度教育後援会総会

次のとおり総会を開催いたしますので保護者の方はご出席下さい。

期日 平成27年4月5日(日) 正午から

場所 本校 第一体育館

会次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 校長あいさつ
4. 報告事項
　　学校状況について
5. 審議事項
 - ①平成26年度事業報告案及び決算案について
 - ②平成27年度役員選出について
 - ③平成27年度事業計画案及び予算案について
 - ④その他
6. 閉会

高専生活のーコマ



校長表彰①



校長表彰②



校長表彰③



校長表彰④



校長講話



学寮テーブルマナー講習会



キャンパスプロジェクト発表会①



キャンパスプロジェクト発表会②



薬物乱用防止セミナー



税と社会保障講演会

題字 池田大祐前校長、マーク 本校ロゴマーク

平成27年3月13日発行 ☆福井工業高等専門学校 ☆〒916-8507 鯖江市下司町 TEL 0778-62-1111